

提出 順番	No. 2	平成29年 8月24日 午前・午後 3時17分受領
----------	----------	------------------------------

平成 29 年 8 月 24 日

幕別町議会議長 芳滝 仁 様

幕別町議会議員 岡本 眞利 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
乳がんの早期発見・早期治療のための対策	<p>乳がんは、日本人の女性12人に1人の割合で患い、年間1万3,600人の方が亡くなっております。乳がんは、30代から罹患し、40代、50代が非常に多く、働き盛りの女性に多いがんです。乳がんは早期発見・早期治療を始めれば、5年の生存率は9割に及びます。そのため、何よりも大切なのが早期発見のための検診です。</p> <p>2006年にがん対策基本法が成立し、本町としても乳がん検診のための助成を行い、さらには、はがきなどで個別に受診を進めるコール・リコールの実施などで、検診率の向上の推進を図っています。</p> <p>乳がんの治療については、10年前にマンモグラフィーをもっと普及していくべきだとの声を受け、検診にもマンモグラフィーの導入が行われています</p> <p>国立がん研究センターがん対策情報センターの調査によりますと、2007年の受診率は24.7%だったのが、2013年には34.2%と少しずつではありますが、着実に増加しております。しかし、アメリカの80%、イギリス、フランス、ドイツ、カナダの70%と欧米諸国に比べると半分以下です。</p> <p>日本では、女性の12人に1人が、がんにかかっているにも関わらず、受診率に結びついていないのが現状であります。</p> <p>特に女性特有のがんの受診率の低さは課題です。昨年、乳がんと闘う1人の女性のブログが注目されました。34歳、子育て真っ最中のその方は、パチンコ玉ぐらいのし</p>

こりに気がついた時には、既にステージが高く、転移しており、3年の闘病生活をおくり、今年6月に亡くなられたこともあり、乳がんについては世間の関心が高まっています。

そこで以下の点について伺います。

- ① 乳がん撲滅のための取組と現状について
- ② 現状の乳がん検診の対象者年齢について町の見解は
- ③ 自己検診、セルフチェックの啓発については
- ④ 乳房自己検診グローブの配布について
- ⑤ 今後の個別検診の受診勧奨について
- ⑥ ピンクリボン月間のキャンペーンの取組は